



THE ROTARY CLUB

OF YAMATO-NAKA

# 大和中ロータリークラブ会報

## YOU ARE THE KEY あなたが鍵です

1985-86 R.I 会長 エドワード F カドマン

上田会長 クラブターゲット

仲よく 語ろう ロータリー

第 377 回 例会 61 年 1 月 9 日 第 383 号

### 出席報告

会員数	出席数	出席率	前回の修正
54名	46名	85.19%	98.11%

欠席者 (8名)

橋本、神作、木村、松崎、三浦、大西、  
染矢、山中

本日のプログラム 1 月 16 日

クラブフォーラム 「社会奉仕について」

次 週 予 定 1 月 23 日

白井 宏氏 (車体工業(株)総務部長)  
「企業内保育について」

司会 SAA 伊藤英夫君

ソングリーダー 北砂富三君「君が代」  
「奉仕の理想」

### 《ゲスト》

薩田信次郎君、推橋義信君、小武錦示君 (大和青年会議所)

### 《ピジター》

石黒 茂君 (東京町田中)  
三浦福好君、岩瀬 至君 (綾瀬)  
安藤忠夫君、星 幸男君、藤本 孝君、  
榎山芳久君、藪内宏雄君、堀内勝正君、  
安野 守君、矢島 悍君、伊藤正己君、  
岩瀬猛男君 (大和)

### 《会長報告》

○ 新年明けましておめでとうございます。1986年  
が私達にとりまして、そして又、国際ロータリー  
に於きましても輝かしい年でありますように

と願いそして信じております。

- 新春にふさわしいものからご報告致します。  
ラスベガスでの「ロータリー祭典」へのお誘いで  
す。1986年6月1日～4日まで国際ロータリー  
大会が米国ネバダ州ラスベガスで開かれます。  
登録、宿泊の申込み用紙がきております。(回覧)
- 100万人目のロータリアンは貴方のクラブかもし  
れない。推計によりますと2月17日～2月23  
日の1週間に100万人目のロータリアンが入会  
する可能性があります。“貴方のクラブもワンミ  
リオンメンバーのクラブになって下さい”との  
呼びかけがR Iより届いております。
- 上野ガバナーより次年度地区財団学友委員長に  
亀谷志郎会員の委嘱状が参っております。亀谷  
さん、ご苦労さまですが宜しくお願い致します。
- 3月1日(出)第10・11分区I.G.F.開催のご案内が  
きております。是非今から3月1日(出)午後を予

1. 真実かどうか

3. 好意と友情を深めるか

2. みんなに公平か

4. みんなのためになるかどうか

事務所：大和市中央1-5-40  
大和市商工会館内  
☎0462-63-7926  
例会場：大和市大和南1-4-4  
八千代信用金庫大和支店4階  
☎0462-64-3654

例会日：毎週木曜日12時30分より  
会長：上 田 利 久  
会長レク：藤 田 重 成  
副会長：富 沢 重 徳  
幹 事：近 藤 富 士 男  
会報委員：松 崎・種ヶ島・木 村

定しておいて下さい。(回覧)

- 大和青年会議所理事長の薩田信次郎さん他がお見えになっておられますので一言ご挨拶をお願い致します。

#### 大和青年会議所 薩田信次郎理事長

皆様明けましておめでとうございます。1986年度大和青年会議所の理事長の薩田でございます。青年会議所は1月から年度代りということで、昨年は大和中ロータリークラブの皆様には安藤理事長が大変お世話になりました。本日本年度執行部とともに新年のご挨拶に伺った次第です。副理事長の推橋義信君と小武錦示君です。どうぞ宜しくお願い致します。本年も一年間沢山の事業を予定しております。大先輩の皆様にご協力をお願いすることもあるかと思いますが、若さしかない我々でございますので、皆様の御支援を宜しくお願い致します。

#### 《幹事報告》

- 本日より下半期会費の納入を事務局へお願い致します。金額は96,000円です。
- 本日例会後臨時理事会を開催致します。

#### 《委員会報告》

##### 出席委員会

委員長 長野俊八君

上田会長の「委員会別の炉辺会合の開催を！」という主旨に基き、早速勉強会を開きます。

1月18日(土)午後7時より藤田会長エレクトの事務所です。各年度の出席委員長の方々は是非ご出席下さい。尚ご出席いただきたい方々に対しましてはお手紙でご連絡いたしますので必ずご出席をお願い致します。

##### ゴルフ同好会

委員長 松本三郎君

2月18日(火)厚木国際CCにおきましてボーイスカウトのチャリティーゴルフ会が開催されます。今回は地区のボーイスカウトの主催になっています。会費は10,000円です。ご出席をお願い致します。

##### 親睦活動委員会

委員長 上村幹雄君

本日パンフレットをボックスに入れておきました。が来る2月11日(祝)に第2回家族会を新橋演舞場の「ヤマトタケル」を觀賞致します。詳しいことは後日ご連絡致しますが、ご予約をお願い致します。

#### 《お祝》 おめでとうございます!

お誕生日	原田 穆君	(12月21日)
	近藤富士男君	(1月1日)
御夫人お誕生日	古川 巖君悦子夫人	(1月5日)
	二見長幸君憲子夫人	(1月11日)
結婚記念日	熊倉光男君	(1月15日)
創業記念日	中西 功君	(1月1日)
	有沢昭二君	(1月6日)
入会記念日	岡本重之君	(59年1月5日)

#### 中国のことわざ

ある古い中国のことわざに次のようなものがある：「聞いたことは、忘れてしまう。見たことは、覚えているかもしれない。だが、体験したことは実際に分かる。」ロータリーについても同じことが言える。新会員は、入会時にロータリーに関して説明を聞くが、ときには忘れてしまう。入会後は例会で、ロータリーのいろいろなことを目にするが、この大部分は覚えていない。新会員は、活動に参加することによって、初めて、ロータリーとはいったい何かを本当に理解するのである。

新会員は、所属委員会の委員長の指導を受けて初めて実際にロータリーの活動に参加するようになるのである。真に有能な委員長は、任務を割り当てるだけでなく、その後も様子を見守り続け、そして委員ひとりひとりに何らかの仕事が与えられているように配慮する。このようにして個々の会員に、「超我の奉仕」という私達の信条の真の意味を悟らせるのである。

《挨拶》 上田利久 会長

「年頭にあたり」

あらためまして皆様おめでとうございます。  
1986年第1回例会の鐘を力強く点鐘させていたゞいたわけでありませぬ。このように皆さんとご一緒にロータリークラブの一員として第377回例会を持てますこと、これも皆さんの温かきご協力とご理解によるものと心から感謝している者でございます。

377回の点鐘、ロータリーソングを声高らかに歌い仲間意識を確かめながら己の仕事を離れ、卓話を通して、又、仲間との触れ合いの中でロータリーの世界へと導入されていくわけでありませぬ。これソ連の生理学者バヴロフの犬の実験にみられる条件反射の一つであります。処が折角出来あがりました条件反射も刺戟を与えないでおりますとたゞの無関心な犬に戻ってしまいます。

正月早々、有能なるロータリアンを犬になぞらえたりして大変恐縮でございますが、その刺戟を与え続けること、これがロータリーでございます。

ロータリーとは出席することゝ見つけたりという先人の名句を思い出さずにはいられませぬ。

1905年3月9日(木)シカゴロータリークラブ第1回の例会がございましてこれが今日に及んでいるわけでありませぬ。この重みを年の始めに皆様とともにかみしめてみたいと考えた次第であります。

映画でお馴染みの暗黒街のボス達が愛用しておりましたフォードの黒塗りの箱型乗用車が量産体制に入ったのが1908年といわれていますから、まだ馬車が砂塵をまいて走り廻っていたであろうシカゴの片隅みで、仕事は一応成功したけれども、何となしに淋しいという4人の男達が求め合ったものは何であったのでありませぬでしょうか。彼等自身だべり合う仲間がほしかったという事、それから相互取引による会員同志の利益の為でもあった等々といわれています。それはそれとしまして、

すくなくとも業界の代表者達の集まりでありますから彼等が暇であった筈はありません。それなりのお忙しやさんの集りであったと思われませぬ。

孤独だからロータリーがあるといった仲間同志の親睦からはじまったロータリークラブではありませぬが、「ロータリーとは親睦と奉仕の中に宿る」といった自覚がポールハリスの心の中に芽生えはじめたのが1910年頃といわれています。そしてそこに「奉仕クラブ」としての方向づけがなされたわけでありませぬが、当時この奉仕ということに対しての二つの考え方についてちょっとふれておきます。その一つは困った人にお金や物を与え、時には労働を提供しようという、ごく一般的な考え方でありませぬ(行動派)。他の一つは、困っている人達に対して我々がどんなに頑張ってお金を積み物を与えてみたところで彼らを完全に救うことなど出来るものではないといった、いわゆる理論派の考え方でありませぬ。公衆便所を作り、身障者に対しての養護施設を作ってはみたものゝ、物質的奉仕活動に対しての絶望感がそこに生まれてきたわけでありませぬ。このように理論派と行動派が激しくぶつかり激論をたゞかわせたと、物の本に書いてあります。そしてこのことが、のちに整理されまして決議23-34となるわけでありませぬ。即ちロータリーの奉仕とは精神と実践との調和の中に宿る。理屈だけ言っても駄目だ。実践をしなければいけない。行動しているだけでもいけない。その前に理論をふまえなければいけない。といった次第であります。

今年度のクラブ運営方針の中に掲げさせていただいたことでありますが、いつも誰かと続けよう。くつろぎの中で己を知り他人を知る。こゝに委員会活動がある。そしてそこに親睦が芽生える。どうか、忙しいなどと言わないで、具体的、積極的に行動してみてください。たゞ、もくもくと昼めしを食べているだけでは何も与えられませぬ。あの皮肉屋のバーナード・ショウが言っておりま

す。「ロータリアンって何?」「あゝあれは昼めしを食いに行く連中のことさ」と……。

とは申せ、比較的新しく入会された方々にとりまして何らかの取っかかりがあった方がいゝであろうということが12月の理事・役員会に於て討議されました。その主旨につきましては年末の夜間例会に於いて申し述べましたし、先程、すでに長野さんから第1回目の提案がありまして大変嬉しく思っておりますが、宜しくお願ひ致します。

さて次に、時間が余りありませんが、個人奉仕か団体奉仕かという点についてすこし触れてみたいと思います。

個人の力なんて、たいしたものではない。この宣伝の世の中、世間の人を納得させるような奉仕活動をするには団体の力でなければとても出来るものではない、という考え方は誰もが考える考え方でありまして、その代表的なものは、We Serve ライオニズムであります。

ところが我々ロータリークラブとしての奉仕団体的な財源となりますと、ニコニコボックスのお金しかありません。いくら頑張ってみたところで年間150万そこそこでございます。

ところが個人奉仕はと申しますとお金がなくとも関連団体に、時には行政に対して呼びかけることが可能でございます。地域でのニードをとりあげそれぞれの問題提起をするということは出来るわけであります。

とは申せ今日のように福祉行政が行きわたって参りますと、そんなうまい話が手つかずでそこらに転がっている筈はめったにない。そんなような気持ちもするわけです。

ひるがえってみまして今、国際ロータリーとして取り上げております3Hプログラム（Health 健康 Hunger 飢餓 Humanity 人間性尊重）或はポリオ+計画：これは何れは集団奉仕形態をとっております。恐らくその大もとは未開発国のロータリアン又はロータリークラブからの問題提起

がなされた筈であります、このように大きなテーマになりますと当然、国際ロータリーの組織を総動員し活用することはもっともなことであります。しかしどうもその結果だけが報道され、金集めの道具とされ、いわゆる国際ロータリー指導型になってしまっているというのが現状ではなからうかというように思われるわけであります。

このように今ロータリーの奉仕活動そのものが、大変微妙な段階にあるということはよく解ります。ですが、その考え方として決議23-34が邪魔になるという事だけでこれを削除しようというのも誠に乱暴な話でございます。この事につきましてはI.G.F.等で討論があると思いますが、今年度我が大和中クラブはホスト役をするようないわゆる義務的な行事は何もございません。

皆さん方の気持を集約する一つの行事があれば楽なのですがありません。一方、先程申しましたように、ロータリーの奉仕活動とは必ずしも形にあらわすものではありません。然しながら人間は何もしないでいると、ついだらけてしまいます。私、今自らを省りみている段階でございます。引続きクラブ協議会もありますので、この辺にしておきますが、時間がなくて私の話が舌足らずのところがございますので、もしかして皆さま方の中でロータリークラブは奉仕クラブであるという風に受けとめた方がいらしたとしたら、それは私のしゃべり方が下手だったと言う事と、若干認識不足であったという事であります。

ロータリーは奉仕クラブではありません。

ロータリーは職業分類クラブであります。そしてロータリーは奉仕の実践を行うロータリアンを育てるクラブであります。

「仲よく語ろう ロータリー」 まだあと半年あります。皆様方のご理解とご協力をあらためてお願いしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

## クラブ協議会

会長：只今から第5回クラブ協議会を開かせていただきます。お忙しい処をそれぞれの委員会に於きましては、委員長さんを柱として、委員会の方々とご討議をいたぐいており、すでに具体的な活動をいたぐいている委員会もあり感謝いたしております。

クラブ運営の主旨につきましては、先程ふれさせていただきました如くでございますが、各委員会で現在までに消化して下さったこと、そしてこれからの活動計画の変更などございましたら手短かにご発言いたぐきたいと思ひます。

こゝで改めて12月の理事、役員会で討議決定させていたぐきました勉強会と申しました炉戸会合といつても宜しいのですが「ロータリーだべり会」について、報告を兼ねお願いを致しておきます。今年度の委員長さんにリーダーを、歴代の委員長さん方にサブリーダーをつとめていたぐき、それぞれの委員会をテーマとして30分ばかり勉強し、あとは一杯といった趣向であります。比較的新しく入会された方々に対しまして、又、時には古いと思ひている方に対しまして出席義務的に指名させていたぐくことがあるかもしれませんが、これも触れ合いを広めるとかゝりの一つと理解をいたぐきたいと思ひます。

申すまでもなくクラブ奉仕関係にこだわられません、他の四大奉仕委員会も随時ご活用いたぐければ幸せであります。

もう一つ年末の夜間例会の折にお願いしておいた事ではありますが、例会をより楽しく、魅力あるものにするにはどうしたらよいか、などの点についても、ほんの思いつきで結構ですのでご提案いただければと思ひております。

ではクラブ奉仕委員会からお願い致します。

特にならぬ場合はパスとおっしゃって下さい。

— このあと各委員長より活動計画に沿つての

意見が一言ずつ（変更ない場合はパス）述べられました。—

## 《スマイルボックス》 委員長 古川 巖君

大和青年会議所 明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。

又今年1月より八千代信用金庫加藤支店長のお計らいにより、事務局を当会場4階に開設させていたぐきました。宜しく申し上げます。

石黒 茂君（東京町田中） いつもお世話になります。今年も宜しく……。

三浦福好君（綾瀬） 明けましておめでとうございます。今年も宜しく申し上げます。

岩瀬 至君（綾瀬） 新年明けましておめでとうございます。本年も宜しく申し上げます。

安藤忠夫君（大和） 新年おめでとうございます。本年も又宜しくお願い申し上げます。

星 幸男君（大和） 新年おめでとうございます。本年も宜しく……。

藤本 孝君（大和） 会員の皆様おめでとうございます。新春早々お邪魔します。宜しく。

榎山芳久君（大和） 大和中クラブの皆様明けましておめでとうございます。本年も昨年同様宜しくお願い致します。

藪内宏雄君（大和） おめでとうございます。本年も宜しく。

堀内勝正君（大和） おめでとうございます。今年も宜しく。

伊藤正巳君（大和） 新年明けましておめでとうございます。本日はメイクアップに伺いました。今年も度々お世話になると思ひますので宜しく申し上げます。

安野 守君（大和） 皆様明けましておめでとうございます。お寒い折です。健康に十分注意して頑張ってください。

矢島 悍君（大和） 今年もお世話になります。

岩瀬猛男君（大和） おめでとうございます。本

年も宜しくお願い致します。

上田利久君 皆様とご一緒に健康と平和のうちに1986年新春を迎えることが出来ました事を感謝して、今年も宜しくお願い致します。

寺田伍六君 皆様から賀状をいただき厚く御礼申し上げます。大変なご無礼をお許し下さい。

松本忠明君 あけましておめでとうございます。今年も宜しく。ゴルフでは優勝させて下さい。

土屋翁三君 皆様明けましておめでとうございます。在大和市深見の中国留学生から「今年も宜しくお願い致します」とのことで賀状を預って参りました。私からも宜しくお願い致します。

松本三郎君 明けましておめでとうございます。昨年同様、今年も宜しくお願い致します。

上村幹雄君 親睦委員会では昨年色々有難うございました。今年も何卒宜しく願います。

岡本重之君 明けましておめでとうございます。多数の方々より年賀状をいただき有難うございます。スマイルしお年賀に致しますので!!

二見長幸君 女房の誕生祝ありがとうございます。会員増強に格段のご協力をお願い致します。

熊倉光男君 結婚記念祝有難うございました。今年も宜しく。

原田 穆君 誕生日のお祝有難うございました。今年の12月21日で55才に到達します。

有沢昭二君 創業記念日のお祝有難うございます。18年大和にお世話になっております。今後とも宜しく。

鈴木久次郎君 12月に創業記念をいただきありがとうございます。創立20年でやっと企業として成人出来ました。今後ともご支援をお願い致します。

中西 功君 創業記念祝っていただきありがとうございます。

石渡英二郎君 新年あけましておめでとうございます。今年も宜しく願います。

古川 巖君 新年おめでとうございます。皆様から年賀状をいただききっぱなしで御無礼致しました。おわびのしるしにスマイルします。

### — 第376回 例会会報続き —

《お 祝》 おめでとうございます!

5年皆出席	山中忠誠君
7年皆出席	近藤富士男君
御夫人お誕生日	中西功君多恵子夫人(12月24日)
創業記念日	松本忠明君 (12月15日)
	鈴木久次郎君 (12月25日)
お誕生日	金井大輔君

《スマイルボックス》 委員長 古川 巖君

上田利久君・近藤富士男君

半期無事に終わり、素晴らしい忘年会を企画され、楽しい年越と新年を迎えることに感謝して。

山中忠誠君 5年間もよく務まりました。お礼を申し上げます。

竹本正俊君 皆様お久しぶりです。他のクラブで親善を深めてまいりました。来年はできる限りホームクラブに出席したいと思っております。

金井大輔君 久しぶりのホームクラブ出席でめんくらっています。皆さんには大変ご迷惑をかけました。又、見慣れない人も居ますが、よろしく願います。なお、本日は小さくなっていますので、どうか激励をお願い致します。お誕生日のお祝い、ありがとうございました。

古川 巖君 皆様昭和60年の例会は最後になりましたが、今年もいろいろお世話になりました。来年もなおいっそうスマイルボックスをよろしく願います。